



にいかっぴーマン楽団の印象を新冠中学校吹奏楽部に聞いてみました。

私達にとって、にいかっぴーマン楽団の方は先輩みたいな存在です。一緒になった時は、演奏について色々なことを教えてもらっています。にいかっぴーマン楽団の方は演奏が上手いし、いつも仲良く話しているの、とても楽しそうに見えます。高校生になったら、にいかっぴーマン楽団に入りたいと思っています。

また、にいかっぴーマン楽団のおかげで演奏会の出演回数が増えました。人前で演奏することが増えて、とても嬉しいです。

(新冠中学校吹奏楽部 部長 木村仁美・副部長 西山晴陽)



西山晴陽さん(左)と木村仁美さん(右)

①えましあ祭り(令和5年7月) / ②町民文化祭(令和5年10月) / ③にいかっぴーマン楽団定期演奏会(令和5年11月) / ④⑤生涯学習講座「楽器体験講座(成人対象)」(令和5年11月~12月) / ⑥イルミネーションフェスタ(令和5年12月) / ⑦新冠町×昭和音楽大学パートナーシップコンサート(令和6年2月) / ⑧新冠中学校吹奏楽部合同演奏会「スプリングコンサート」(令和6年3月) / ⑨⑩新冠中学校吹奏楽部合同演奏会「にいかっぴーマンサマーコンサート」(令和6年6月)



にいかっぴーマン楽団 団長 上井 大知 さん

母校でもある新冠中学校で教員として勤務する傍ら、にいかっぴーマン楽団を創設する。

● 現在の、上井さんは新冠中学校吹奏楽部の顧問をされていますが、吹奏楽部の生徒は、にいかっぴーマン楽団をどう思っているのでしょうか。上井 考えてみると、中学生に直接聞いたことはありません。ただ、私は中学生が自分たちより演奏経験のある人たちを身近で見ると、何かを得るものがあればと思っています。● にいかっぴーマン楽団として、今後の目標はありますか。上井 どうしても吹奏楽団は長続きしない傾向があるので、長く活動を続けることが第一の目標です。その上で、地域に愛され、地域が誇れる吹奏楽団になりたいと思っています。

● は野球部の顧問でしたが、吹奏楽部の顧問と「一緒に演奏会をしようか」と話したのがきっかけです。にいかっぴーマン楽団にとって中学生の存在は刺激的です。中学生の前では、大人としてあまり下手な演奏はできません。

● 令和5年になってから活動が本格化しましたね。上井 えましあ祭りは、楽団として初めて単独で演奏披露をしたので、特に思い入れがあります。● 公演回数が多いと思いました。上井 公演が多いのは、皆さんから声をかけていただいたおかげです。にいかっぴーマン楽団の都合としても、仕事の関係で公演に参加できない人がいるので、公演のお話しが多いことは非常に嬉しいです。● にいかっぴーマン楽団が講師となった生涯学習講座がありました。上井 教育委員会から講師依頼があった時は、創設間もない楽団だったので、講師が務まるか不安でした。しかし、この講座がきっかけで楽団に加入してくれた方もいて、素敵なお話しを聞いただけと思っています。● にいかっぴーマン楽団主催の定期演奏会も既に行われています。上井 町の文化協会に加盟している中で、自分たちが主催の演奏会を開き、町民の皆さんに見ていただきたいという考えは創設当初からありました。● 定期演奏会とは別に、新冠中学校吹奏楽部との合同演奏会もされていますが、きっかけは何ですか。上井 私が新冠中学校の教員で、当時